

【I】学習拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館事業の充実（中項目）

石橋公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育など、各年代のライフスタイルに沿った講座を実施します。	家庭教育の向上に資する講座等を実施しているか。	地区内の小学校や駅前イベント等でチラシを配布して受講募集に務めた。各講座とも募集定員は満たさなかったが、通常の講座より効果があった。初の試みとして、家庭教育のほかに幾つかの要素を複合させた親子向け講座を実施したり、「野ばら幼稚園」での講座を実施した。 受講者数 延 321 人	ファミ・ラボでは、地元の若い市民活動グループの活動の機会となった。またママナビ・サロンでは、園長の要望に沿ってファシリテーターとカリキュラムをオリジナルで作成して現場の声を活かす企画とするなど意義深かった。昨年、公民館が集客した4倍近い母親とアプローチ出来た成果は大きかった。	
	青少年教育に関する講座等を実施しているか。	地域で活躍するボランティアの協力のもと、子ども達の好奇心や実践体験を醸成することを目的に、石橋こどもクラブサイエンス体験（全5回）とちびっこ料理教室（全6回）を実施した。学校の授業とは違った新鮮な驚きがあり有意義だった。 受講者数 延 196 人	定員を上回る受講希望者のある人気講座である。特に「ちびっこ料理教室」は、市で唯一のオピニオンリーダー「青い鳥」の活動の場。講座の特徴は、「近所のおばちゃんや普通の食事を作る」ことで、調理をしながら様々な話題を楽しみつつ進行する。子ども達は通学する学校や担任の自慢話が多く、自身の学校や郷土への愛着に結びついていった。	
	成人教育に関する講座等を実施しているか。	定年退職前後の方が趣味と終活とを明るく学ぶことを目的におとな倶楽部（全6回）を実施した。これからの超高齢社会に生きる者の知恵、考え方を養うことに焦点をあてて実施した。 内訳 セカンドステージ支援 延 113 人 まちづくり入門 延 26 人 成人 延 624 人	受講生も目的を持ち高い意識で講座に向かい合っていた。特に講師が勤務する高齢者施設で記録したドキュメンタリーは、自立を目指しながら癌と戦い、家族介護を受けながら亡くなった40代男性の意思を伝えたもので、受講生は涙ながらに共感と学びを体験した。	
	高齢者教育に関する講座を実施しているか。	高齢者の方がみんなで心地よい時間を過ごし人生を楽しむことを目的にグリム大学（全8回）を開催した。参加者は、毎回、前向きに取り組み、歴史の学習では、自主的に質問するなどの活気があった。 受講者数 延 313 人	課題解決型プログラムを取り入れての人権学習では、グループごとに活発な話し合いが行われた。また日光方面の館外研修では、日本建築の素晴らしさや「見えないチカラ」について学び合うなど、受講生同士の交流が更に深め合うことが出来た。	

	趣味・教養に関する講座等を実施しているか。	趣味や教養などの様々な学習を通じて、生きがいや仲間づくりを目的に「ガーデニング楽習会」や「ストレッチ 2019」「心に響くカジュアルコーラス」など 8 つの成人講座を開催した。参加者は、それぞれ熱心に受講し、講師や受講生との交流を深めていた。	「出張公民館ご近所元気あっぷサロン」では、公民館講座を受講したくても免許返納等で公民館に来られない声に対して講座を企画した。関係課とタイアップし、高齢者サロンが結成されていない地区で講座を実施した。どの会場でも好評で、「このような集まりがしたい」との要望を包括支援センターへと引き継いだ。自治会や民生委員、関係各課と協働して実施することが出来た。	
イ 地域の活性化を図り地域の輪を広げるため、まちづくりの担い手や様々なボランティアの養成を目的とした講座を実施します。	地域づくりのための課題を把握し、講座等に活かしているか。	職員が、平日頃から地域課題の把握に努め、地域のボランティア代表の協力を得てまちづくり入門講座「地域イベントとまちづくり」講座を実施した。	個人では限界があるので、横の連携も行っていきたい。	
	ボランティア養成に関する講座等の実施。また、ボランティア活動の場として提供しているか。	ママナビ・サロン等で家庭教育支援チームひばりと協働して講座の実施をしている。	活動の輪が広がっていけるように推進していきたい。	
ウ 市民の学習ニーズの把握に努め、魅力的で参加しやすい講座を実施します。	市民の学習ニーズを把握するため、意見箱（窓口対応を含む）等を設置し、講座の企画に生かしているか。	これまで来館者や受講生からの聞き取りやアンケート調査の実施に加え、昨年4月から意見箱を設置してこれに務めた。	多くの方（来館者以外も含め）から意見を吸い上げて、より良い講座へとつなげていきたい。	
	一時保育を行っている講座を実施しているか。	1 講座（ママナビ・サロン）で計画したが、利用はなかった。	実施に当たって託児ボランティアの方と調整して講座を実施したい。	
エ 世代間交流を促進する講座の開催など、地域コミュニティの醸成を図るための取り組みを行います。	幅広い年齢層が交流できるような講座等を実施しているか。	年少から高齢者までが交流する講座を開催した。	皆が交流し楽しめる講座内容にしていきたい。	
	地域コミュニティの活性化につながるような事業を実施しているか。	活性化につながる講座の実施と新たな講座の企画に向け、ニーズの把握に努めた。	「地域コミュニティ」の現状を把握し、広く意見を徴集していきたい。	

2. 生涯学習活動の場の提供 (中項目)

石橋公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 生涯学習に関する活動の中心の場とします。	地域住民に、公民館の目的を周知しているか。	公民館振興計画、公民館運営審議会議事録 また、公民館だよりを市ホームページに公開した。	今後も多くの機関への配布等、多くの市民等に周知していきたい。	
	住民の身近な学習・交流の場としての提供や学習相談などを実施しているか。	玄関入口ロビーに利用者が寛げるように応接セット等を設置し、利用者が交流できる場所を設置している。また、依頼者に必要な学習相談を行った。	気軽に利用出来る施設にしていきたいように工夫したい。	
イ 全ての人に開かれた学習機会・場を提供します。	子どもから高齢者までが参加できる学習の機会、場を提供しているか。	生活(ライフステージ)の時期に対応した講座を提供するよう努力した。	楽しく為になる講座への工夫や従来にとられない実施のカタチ(夜間、出張、協働など)を検討していきたい。	
	講座等の募集は、広く市民に周知しているか。	生涯学習情報誌エールの他、様々な媒体を通じて周知に努めた。	内容を理解されるように努めた。目に留まり、手に取ってもらえるようにする工夫を凝らしたい。	
ウ 活動に必要な備品の整備に努めます。	利用者の活動ニーズに即した備品を整備し、台帳を作成しているか。	台帳上の備品(パネル・脚)を館内・外での使用で貸し出している。	新公民館建設の予定もあり、利用者のニーズに応じた対応をしていきたい。	
エ いつでも気軽に活動でき、人が集まる公民館をめざします。	利用促進のため、講座内容の検討やロビー等の活用を努めているか。	自主サークル等が活動促進につながるよう利用促進を図った。	ロビーや壁面等を活用して利用促進を図った。	

3. 学習情報の提供と学習相談体制の充実 (中項目)

石橋公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 地域住民への学習情報提供や学習相談の窓口として対応します。	学習情報は「広報しもつけ」や市ホームページ等に掲載し、提供しているか。(下記2項目を統合) ・学習情報は「広報しもつけ」に掲載し、提供しているか。 ・学習情報はインターネット上に掲載し、提供しているか。	市ホームページに「生涯学習情報誌エール」を掲載し、市民への学習情報の提供に努めた。	自治会未加入者並びにパソコンのない方々への広報活動を推進していきたい。	
	自主グループやサークルの紹介や活動報告を提供しているか。	自主サークル一覧として生涯学習情報誌エールに掲載したほか、広報紙に活動状況とともに募集記事を掲載し、問い合わせがあった。	広く活動状況を周知できるよう取り組んでいきたい。	
	資格取得に関することや入学案内情報など、住民にとって有益な民間情報を提供しているか。	各種情報紙の窓口への配架等に努めた。	内容ごとに分けるなどの工夫をしていきたい。	
	学習情報提供や学習相談に対応し、またそれに関する課題を把握し、相談内容を記録しているか。	職員が帳票に内容を記録しているほか、職員間で報告・相談をした。	紙面に残すための時間を確保していきたい。	
イ 学習情報の掲示や資料提供に努めます。	利用者に学習情報やちらし・ポスター等の資料の提供に努め、見やすく掲示され、整理整頓されているか。(下記2項目を統合) ・学習に関する必要な資料の提供に努めているか。 ・学習情報やチラシ・ポスターは利用者に見やすく掲示され、整理整頓されているか。	内容の区分けに充実を図っている。	現状以上に見やすい方法の検討が必要である。	
	利用者に対し学習情報やチラシ・ポスター等の資料の提供に努め、見やすく掲示され、整理整頓されているか。	整理整頓に努めた。	公民館利用者の目に留まってもらえるようになっている。	
	期間の過ぎた学習情報は撤去し、常に最新の情報を掲示しているか。	職員全員で期限に注意を払い、適宜、撤去した。	多忙な時期の見落としに注意し、確認に努めていきたい。	
ウ 情報の収集、提供機能の充実を図ります。	学習に関する地域の情報発信拠点として、市内外の学習情報等を収集し、提供しているか。	市内は各課等から提供され、市外は県、他市との会議、研修会で収集、提供に努めた。	左記以外の情報はインターネット等を活用している。今後も継続していきたい。	
	情報の収集と提供機能を強化するため、近隣市町や関係団体と連携・協力体制を図っているか。	他市町の情報や下都賀教育事務所と連携して情報交換を行った。	県公連や社会教育指導員間等の様々な連携を通して対応していきたい。	

【Ⅱ】活動拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の育成・活動支援（中項目）

石橋公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 公民館講座などの受講生の自主グループ化を支援します。	受講生の自主グループ化のために、助言や指導などを実施しているか。	公民館利用の1サークル（ユウキアイナ）が自主サークルとなった。このほか公民館講座でもサークル化へとつなげるよう取り組みをした。	公民館講座受講生や公民館を利用するサークルにも声をかけて自主サークル化に取り組みたい。	
イ 各公民館の自主サークルが交流できる場を提供します。	各公民館の自主サークル相互の交流が図れるように、公民館がコーディネーターとしての役割を果たしているか。	今後のサークルの交流を促すため、交流会の開催に向けた会議を実施した。	各館と連携してサークル同士の交流に努めていきたい。	
ウ 自主グループや市民団体の活動を支援します。	自主グループや市民団体の活動に対して、情報や場の提供、学習相談などを実施しているか。	活動する自主サークルがボランティア活動前の練習や着替えのための部屋の提供、駐車場の支援を行った。また、職員が自主サークル等利用者の様々な相談に対応した。	気軽に相談・利用出来るように努めていきたい。	

2. 学習成果の発表の場の提供（中項目）

石橋公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 自主グループや公民館利用者等が学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催するにあたり、各世代が参加・見学できるプログラムや運営体制づくりを支援します。	公民館まつりにおいて、自主サークルや公民館利用者等が学習成果を発表できる場を提供しているか。	館内全てを公民館まつりに提供した。	多くの方に来場して頂けた。今後も使い勝手の良い施設にしていきたい。	
	公民館まつりの開催にあたり、自主グループや公民館利用者等が運営に参画し、各世代が参加・見学できるプログラムづくりや運営体制づくりの支援をしているか。	以前からの取り組みで、自主グループの皆さん方が運営体制等の様々なノウハウを持ち、まつりの運営に活かされている。	自主グループと事務局との良好な関係を保ちながら推進していきたい。	
イ 自主グループや公民館利用者等の学習成果の館内発表の場を常時設置します。また、公民館だけでなく、他施設への展示を支援します。	自主グループや公民館利用者等に、館内の発表・展示スペースを提供しているか。	館内の展示スペースを上手く利用し、グリムフォトクラブやラペリスフラワーによる常設展示をしている。	展示スペースが限られているので上手く活用していきたい。	
	自主グループや公民館利用者等に他施設への展示の支援をしているか。	下野市書道連盟の書道展に際し、パネル等の備品を貸し出した。	他施設への展示支援が広がるよう、市関係施設以外への備品の貸出基準の検討をしていきたい。	

【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館（大項目）

1. 利用団体の協働のまちづくりへの参画支援（中項目）

石橋公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 利用者との協働による公民館運営をめざします。	公民館の運営に市民や利用者の意向（意見）を反映させるための仕組みをつくり、反映されているか。	意見箱の設置や講座終了時のアンケートを実施した。また、石橋複合施設建設に向けて、利用者の意向を反映できるよう生涯学習課や他館と協力しワークショップ等を行った。	出された意見を公民館運営に取り入れていけるように努めていきたい。	
	公民館の主催事業等の企画、運営、実施に公民館利用者（自主サークル、ボランティア団体等）または市民が参画しているか。	公民館利用者の意見を汲み取りながら事業の企画をした。	幅広い層の参画が図れるように努めていきたい。	
イ 自主企画講座の開催を支援します。	講座開催に向けた必要な助言・指導を行っているか。	会員募集の自主講座開催に対し、助言等を行った。	多くのサークルに周知していきたい。	
ウ 自発的な学習活動を援助します。	学習意欲のある利用者が個人あるいはグループでも学習できるように学習情報の提供や学習相談などを実施しているか。	石高吹奏楽部の生徒は、学校や電車の都合で利用時間通りいかない時もある。個人や少数でも練習や勉強が出来るよう安心出来る居場所としての公民館の役割を果たした。	若者を初めとして誰にでも開かれた公民館としてのPRを図っていきたい。	
エ 利用団体同士が交流できるよう支援します。	団体同士をつなげるような役割を果たしているか。	公民館交流会の開催に向け、希望するサークルを交えて会議を実施した。	交流会の実現に向けて、的確な支援をしていきたい。	
オ 気軽に立ち寄り、情報収集・意見交換などができる自由な交流の場を提供します。	ロビー等、自由スペースの利用促進が積極的に図れているか。	公民館まつりその他のビデオ放映やデマンドバスの待合所として積極的に利用促進が図れるように努めた。	スペースが限られているので工夫に努めていきたい。	

2. 学校・家庭・地域の連携支援（中項目）

石橋公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 市生涯学習情報センターと連携し、市内の小中学校、関係機関、各種地域団体が相互に支援しあう体制を強化充実させます。	学校・家庭・地域の相互の支援体制を強化するため、生涯学習情報センターのボランティアバンクを活用しているか。	ボランティアバンクの具体的な利用実績には至らなかった。	どのような方法がより良い支援につながるのか検討していきたい。	
	学校・家庭・地域が課題や情報等を共有できる体制づくりを行っているか。	石橋地区の小中学校、児童館等のおたよりを掲載する場所を設けた。	より、地域の情報の発信の仕方を検討し、周知に努めたい。	
	公民館利用者など地域住民に対し、ボランティアとして学校への参加・参画を呼びかける等の助言を行っているか。	公民館利用者等に対し、ボランティアとして学校への参加・参画を呼びかける等の呼びかけをした。	学校側のニーズ等に関心を持つことに留意したい。	
イ 各種指導者や地域コーディネーターの発掘と養成に努めます。	リーダー、コーディネーター養成事業を実施したり、発掘に努めているか。	まちづくり入門講座において、受講者にこれからの地域を見据えて活動する上での情報を提供した。	受講者の多くが地域のリーダー的役割を担う方であったが、スキルアップにつながった。	
	リーダー、コーディネーターの養成研修や講座の修了者を指導者・助言者として活用しているか。	公民館講座の講師として依頼した。	新たな人材の発掘や修了者の活動の場を設けていきたい。	
ウ 各種事業・イベントを通して、地域の連帯感を育む活動を支援します。	自治会・コミュニティ・ボランティア団体等に対して、活動相談・場の提供を行っているか。	地元自治会や老人クラブ等の活動に際し、公民館を提供した。	気軽に利用出来る施設として周知に努めたい。	

【IV】地域文化創生拠点としての公民館（大項目）

1. 公民館・生涯学習情報の発信（中項目）

石橋公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 学習情報を周知するため、公民館だよりを発行します。	公民館だよりを定期的に発行しているか。 （4回／年）	公民館だより4号（4月）・5号（9月）・6号（1月）・7号（3月）を発行した。	今後も多くの機関への配布、市民等へ周知していきたい。	
イ 公民館事業の紹介や活動団体のPR等をするため、市ホームページを充実します。	事業の参加申し込み、活動団体のPR等をインターネットで照会しているか。	講座や予約、新規利用者にも紹介している。	多くの方に利用されてきている。	
	ホームページを定期的に更新し、種々の情報提供を実施しているか。	ホームページに公民館まつり等の掲載を行った。	今後は、公民館に関する様々なことを掲載したい。	
ウ 学習情報等の市民への周知徹底に努め、積極的な参加促進を図ります。	学習情報等は「エール」へ網羅しているか。	網羅している。	自治会未加入者への対応として、各施設への配架依頼やホームページ等の充実に努めたい。	
	参加者の少ない講座等に、追加募集などの必要な措置を講じているか。	講座に係る団体への声かけ等、様々な手段を講じて、参加者の集約に努めた。	参加者が定員を満了す工夫と受講確定者の参加率を良くする工夫を検討したい。	
	関係団体等と連携し、情報提供に努めているか。	チラシを作成し、各課・館等に協力を依頼した。	適時最新情報を入手し、タイムリーな情報提供に努めたい。	

2. 施設の適正な維持管理と運営 (中項目)

石橋公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 快適な学習環境を整備します。	館内のインターネットを使用できる環境を整備しているか。	館内で無料Wi-Fiが出来るよう環境を整備している。	一般利用者が気軽に利用できるように努めたい。	
	館内は、清掃が行き届いているか。	行き届くよう配慮した。	シルバーによる清掃時間が短いため、館内の汚れが目立つ場合、職員が直接実施することもある。	
	利用者に配慮した室内の温度・照度は保たれているか。	必要な場合、利用者が調整出来るようになっている。	館が老朽化で難しい点もあるが、利用者の意向に沿えるよう対応していきたい。	
イ 利用者の安全性・快適性に配慮した維持管理を行います。 また、長期的には公民館に求められる施設サービスに応じた規模・機能を踏まえ、他の公共施設との調整を図り、計画的な対策を実施していきます。	維持管理マニュアルを作成し、施設・設備の点検、整備を実施しているか。また、必要な各種修繕工事は実施されているか。	マニュアルを作成し、施設内の確認を実施し、修繕が必要な箇所を補修した。	建物や設備の老朽化で突発的な修繕の場合にも利用者に不便をきたさないように努めたい。	
	公民館改修計画は策定されているか。	石橋複合施設建設へと計画が進んでいる。	新公民館完成・移転までの間、利用者に快適に利用していただけるようにしていきたい。	
	受動喫煙対策はなされているか。	全館禁煙であり看板等を設置し、敷地内で喫煙する方には、注意を呼びかけ順守願っている。	これまで同様、協力を呼び掛けていきたい。	
	高齢者や障がい者への配慮がなされているか。	スロープ、洋式便座、手すり等を設け、窓口での筆談具、玄関への車いすや介助犬の入館許可の張り紙を設置している。	館の老朽化で対応に苦慮するが、対応に努めていきたい。	
ウ 市民が利用しやすいシステムづくりに努めます	施設の利用方法に利用者は満足しているか。	多くの利用者は滞りなく利用している。	本予約の夜間業務 (シルバー人材へ委託) の検討をしていきたい。	
	施設予約マニュアルを作成しているか。また、必要に応じて随時見直し等を行っているか。	施設予約システム利用の手引きに操作ガイドを整備している。	確認することで誰もが対応できる体制が整った。	
	インターネットからの施設予約促進を図っているか。	利用に際しての登録申請時に呼びかけた。	多くの方が利用するようになった。仮予約の乱用を防ぐよう啓発していきたい。	

3. 地域の特色を活かした活動の充実 (中項目)

石橋公民館

評価項目 (小項目)	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果 (目標)	
ア 小学校・中学校と連携し、児童・生徒が交流できるよう支援します。	小中学校と連携・協力した事業を実施しているか。	直接小中学校と連携した事業はないが、各学校の学校だよりを掲示し、学校事業の広報周知に協力している。	多くの利用者が掲示板を見ており、地域の小中学校の発信ができています。今後は学校の独自性を損なわず、公民館としてどのような連携事業が実施できるか検討していきたい。	
イ 地域資源を活かし、故郷に愛着をもてる事業を展開します。	地域資源 (文化財や伝統文化等、人材も含む) の把握に努め、地域資源に触れることのできる事業を実施しているか。	現在活躍中の方に、資源となる知人の紹介を依頼した。また成人講座で、文化財の現地学習を実施した。	講座の内容によっては講師等の人材が見つからないこともあるが、市民に興味を持ってもらえるように講座内容のアレンジをしていきたい。	
	地域の団体や企業、NPO等、地域の人たちが参画できるような事業を実施しているか。	講座の講師等として積極的に地域の人や自主サークル等を活用した。	講座内容を工夫して受講生が多く参加出来るようにしたい。	
ウ 各館の地域性を活かした特色ある事業を実施していきます。	地域が持っている、良い地域性や特色が事業に反映されているか。	文化財や歴史を題材にした講座等を実施した。	地域の資源が、いかに魅力的なものであるかを伝える方法を検討していきたい。	

4. 職員の資質向上（中項目）

石橋公民館

評価項目（小項目）	評価指標	内部評価		外部評価 評価
		実績	成果（目標）	
ア 職員の資質を高めるため、職員研修を計画的に行います。	国、県、協議会等が主催する、種々の外部研修会に参加し、専門性のある職員としての資質の向上を図っているか。	館長及び社会教育指導員は参加している。新任の指導員は県主催の社会教育指導員研修に参加している。また、県及び郡の指導員協議会主催の研修にも参加した。特に本年度は、栃木県での開催となった公民館研究大会で平成30年度実施した「地域元気プログラム」の事例発表者としても参加した。	平成30年度に参加した「地域元気プログラム」研修の成果が出たものとなった。	
	内部研修等を実施し、職員の資質向上、共通理解は図られているか。	共通理解が図れるよう定期的に会議を実施している。	共通理解が得られ、各種事業の推進につながってきている。	
イ 公民館利用者が気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めます。	利用者が気軽に立ち寄り、交流できるスペースを設置しているか。	ロビー等に気軽に利用出来るスペース作りに努めた。	スペース等の制限もあるが、気持ちよく過ごせるような雰囲気づくりに努めたい。	
	地域住民からの問い合わせ（苦情）等について、職員が内容を共有し、迅速かつ適切に対応しているか。	問い合わせ等があった場合、すぐに内容の確認をし、共有するよう図った。	スムーズな処理につながっている。	
	公民館の明るい雰囲気づくりに努めているか。	市民課、公民館利用者に係わらず来館・退館時のあいさつを実施し、積極的な声かけを行った。	明るい雰囲気づくりにつながっている。	
ウ 公民館の適正な運営及び活性化を図るため職員の確保補充に努めます。	公民館の運営方針を明確にしているか。	平成30年3月に公民館振興計画を策定し運営を行っている。	公民館振興計画の市民への周知を行っていききたい。	
	評価の結果を市民に対して公表しているか。	令和元年度は初めての試みであったので、公表はしていない。	試みではあったが、委員からの意見は今後の公民館運営に大変参考になるものであった。	
	公民館職員が、公民館の目標を理解し、目標達成のために必要な人員を確保に努めているか。	公民館振興計画等を理解し、目標の達成に努めている。	公民館職員全てが資質向上を図り、更なる目標へと進んでいきたい。	

石橋公民館

内部評価	全体評価(大項目の達成度)
実績 ・ 成果 (目標)	<p>【Ⅰ】学習拠点としての公民館 ・おおむね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 当初、家庭教育講座「ママナビ・サロン」では受講者数が定員20組のところ、5組(親子10名)と少なかったため、当初の企画を変更しての講座内容となった。初の試みとして、近隣の野ばら幼稚園の2つの親子クラスで講座を実施した。同園長の要望に沿った内容のオリジナルカリキュラムを作成するなど努力し、内容的にも参加者から好評であった。また、「ファミ・ラボ」では、子供向けサイエンスショーとダンス、家庭教育といくつかの要素を複合させた親子向け講座を実施した。当初の受講希望者数が見込んだ数よりも少なかったため、地区内の小学校や駅前イベントに出向いてチラシを配布して受講を呼びかけもした。 免許返納等で公民館講座に受講できない方のために公民館が地域に出向く「出張公民館ご近所元気あっぷサロン」を実施するなどユニークな試みも行い、地域の高齢者から喜ばれ、地域に「高齢者サロン」の立ち上げにも一役買うことが出来た。</p>
	<p>【Ⅱ】活動拠点としての公民館 ・おおむね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 既存の自主サークル数がやや減少し、全体的な人数も、高齢化等で若干少なくなっている傾向にあるが、自主サークルの中には、メンバーの募集を行うなど積極的な取り組みも行っており、支援していきたい。また、練習会場として数多く当公民館を利用する石橋高校吹奏楽部は、昨年栃木県吹奏楽コンクールで見事「金賞」に輝き、地元公民館として嬉しさもひとしおである。 公民館まつりは、全ての自主サークル等が力を結集し、初日のオープニングイベントでは、地元石橋の若手女性ヴォーカリスト(笑い場エンターテイメント代表・永井壘さんの妹・永井胡桃さん)をゲストに迎えるなどまつりに花を添えた。まつり2日目が雨天と悩まされたが、石橋公民館近くの旧石橋庁舎跡地を駐車場に借用して参加者の利便性にも応えた。各駐車場とも満車の状態となり、800人程の入館者があって盛大に開催できた。</p>
	<p>【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館 ・おおむね達成できた。</p> <p>・特出すべき点 公民館利用者の意見を汲み取りながら講座等事業の企画をした。公民館まつりの模様を撮影したDVDなどをロビーのテレビで上映し、公民館利用者を楽しんでもらうことが出来た。また、地元自治会や老人クラブの活動に際して当公民館を利用していただいている。 石橋高校吹奏楽部の練習会場として数多く当公民館が利用されてきている。利用する石高生や指導する先生方にも公民館の良さを知ってもらい今後の活動拠点としても新たな石橋複合施設へとつなげ、更に多くの青少年にも利用していただけるように努めていきたい。</p>

【IV】地域文化創生拠点としての公民館

・おおむね達成できた。

・特出すべき点

公民館だよりは計画どおり、4刊（4～7号）の発行が出来た。

新たな公民館施設利用者が増加してきており、パソコンの普及に伴いインターネットによる利用者が増加してきている。その反面、これまで公民館を利用してきた自主サークルの方でパソコンの利用環境にない方からは「先に予約を入れられてしまって困る」との声も出ている。公民館としても、新規利用の方等に「以前から利用されている方の状況を踏まえて、お互いに気持ち良く公民館を利用出来るように」と依頼をしているところである。

また、講座に関係する団体等にもPRして、より多くの方に受講を呼びかけてきた。

築54年の施設であり、新公民館の計画も着々と進行しており、生涯学習の拠点として多くの方に快適に利用される施設運営を心掛けていきたい。

全体として

令和元年度は「下野市公民館振興計画」の2年目であり、評価マニュアルに基づき公民館運営を改めて見直すこととなり、職員も公民館を客観的に把握する機会となった。評価結果（総評）は次年度の公民館事業に活かし、今後の地域の活性化へとつなげていきたい。

令和2年度は第2次「公民館振興計画」策定(令和3年3月策定・5カ年計画)を行い、令和3年度以降の公民館運営方針を決定する予定である。公民館点検・評価を通し、公民館が果たすべき役割の重要性を改めて確認出来た。公民館振興計画に掲げた「基本理念」や「基本目標」「評価指標」等と当公民館との現状を照らし合わせ、課題等について考察することが出来た。

石橋公民館

外部評価	大項目	大項目に関する意見(各項目ごと)
公民館 運営審議会 委員	【Ⅰ】学習拠点としての公民館	
	【Ⅱ】活動拠点としての公民館	
	【Ⅲ】協働のまちづくりの拠点としての公民館	
	【Ⅳ】地域文化創生拠点としての公民館	
【全体に関する意見等】		